

住む 8: 不確実性を抱えて暮らす  
話し手: アレックス・レessler  
2023年・11月・12日

導入: 内部の城

1月に私はアビラの聖テレサのかなり奇妙な本を手に取りました。彼女は 1500 年代初頭に生きたスペインの修道女でした。その本は「内部の城」と呼ばれています。それは私たちにとって異質な時代から来たものであるため、奇妙です。詩だから不思議だ。奇妙なことに、彼女はスペインの異端審問中に宗教当局を怒らせないような方法でそれを書かなければならなかったのに、そうでなければ彼女は死んでいたでしょう。

しかし、この本の層の奥深くには、自分自身の魂の深みを探求するための呼びかけがあります。自分の中にある聖霊の内なる神殿を旅すること。彼の親密さ、彼の愛、そしてあなたの人生における彼の存在に対する意識を高めるために。

神とともに住むために...

彼女はそれをこう説明しています...

「秘密の場所があります。輝く聖域。自分のキッチンと同じくらい本物です。それよりももっと現実的です。最も純粋な要素で構成されています。一万の美しいもので溢れています。世界の中の世界。森、川...この素晴らしい避難所はあなたの中にあります。入力。戸口を覆う闇を打ち砕いてください...聞いてください。そっと、あなたの愛する人が呼んでいます。聞く。最初は彼の声の痕跡だけが聞こえます。彼はあなたに宛てて隠れ場所にラブレットを落とします。赤ちゃんの笑い声の中で、彼氏があなたに語る夢の中で、愛情ある優しさについて書かれた本の中で...夜に目が覚めて、世界が戦争になったことを思い出し、自分が無力であることを思い出したとき、あなたの心を満たしてくれる名もなき悲しみの中で。戦いを解散する。聞いてください...彼の呼びかけは...遠くからです。近づいてくる。

勇気を持って、自分自身の野生の心の国を歩いてください。優しくなって、自分は何も知らないということを知ってください。すべての瞬間が祈りになり得ることを心に留めておいてください...静かにしてください。聞く。歩き続ける。

なんと素晴らしい王国に足を踏み入れたのでしょうか!...探検してください。必要に応じて休んでください。ただし、眠らないでください。彼の腕に向かってまっすぐに向かってください...そこに行くことを無条件に許可してください。マークを何度も見逃さないようにしてください。

最愛の人があなた自身の存在の中心となる住居を住居として選んだという信じられないほどの真実を信じてください。なぜならそれはすべての創造物の中で唯一最も美しい場所だからです。時間を無駄にしないで、自分の魂の中心に入りましょう。」

私たちの生活における聖霊の住まいについての彼女の詩的な説明は美しいです。魂の  
暗い夜

彼女が52歳のとき、彼女はフアン・デル・クルス(または十字架の聖ヨハネ)という名の25歳、身長わずか5フィートの情熱的な司祭に出会った。彼はカトリック教会の「不浄な行為」と彼が考えるものに信じられないほど幻滅し、隠者として丘で暮らすつもりだった...はあ...とても面白い、しかし共感できる反応だ。悔しいから森の中で一人で暮らすことにする(現代のグーグル:「オフグリッドでホームステッドを始める方法」)

誰もが一度はそう感じたことがあるでしょう。途中、彼はテレサに会い、彼らは友人であり同僚になりました。彼らは、多くのことの中で、私たちの中に神が宿る「インテリア・キャッスル」というこのアイデアと、神とともに宿る人生がどのようなものであるかを検討しました。

この本が完成してから2日後、聖ヨハネは怒った修道士のグループに捕らえられました。彼は拷問を受け、暗い塔に9か月間監禁された。奇跡的に、瀕死の状態で一命をとりとめた。

これらの邪悪な男たちに捕らわれている間、彼の痛み、苦しみ、混乱、憂鬱、不安、不正の真っ只中に神が私たちとともに住んでくださるという考えが彼の心を駆け巡りました。

ようやく脱出したとき、彼は最も有名な詩「魂の暗い夜」を書きました。

この詩の中で、彼は、聖テレサが私たちの中に宿る神の臨在について語ったことの美しさを信じるという緊張感の中で生きることを探求していますが、同時に神の不在のように感じるものを経験しています。信じることは私たちの感情と矛盾します。神の臨在を経験した最初の感情の高揚の後、突然それが薄れ、あなたは疑問に思います...神はどこにいますのでしょうか？彼は本物ですか？彼は良い人ですか？神は信頼できるのでしょうか？

まさにこの経験と期待の緊張感の中で、私たちは今日のメッセージにたどり着きました。今日私たちは詩篇 69 篇の深いところに入っていきます。私たちは不確実性の真っ只中に神とともに住むとはどういう意味かを話します。

動き 1: 不確実性の中で神と共に生きる。

- 詩篇 69 篇はダビデ王の詩篇です。
- この詩編が書かれた時期は不明です。
- 彼がイスラエルの王だったときに書かれたと考えられています。
  - これは、ダビデが不確実性の中で神とともに住むことが何を意味するかを理解して書いていることを意味します。
  - ダビデの生涯のハイライト
    - サムエルによって秘密裏に王として召され、油そそがれた。「人間が見ているものを神は見えていない。彼には心が見えるのです。」

■ ただの羊飼いの少年、ジェシーの忘れられた息子、いつか王になること。

■ 彼がイスラエルの王になるまで30年かかります。

- サウルが死ぬと、ユダは彼を王として戴冠します。

- ユダはダビデの指導の下でイスラエルから離脱しました。

- ユダは力を増し、イスラエルは衰退しました。

- 最終的に、サウルが王国を分割した後、ダビデは再び王国を統一しました。

■ これは、時間のかかる人の人生に対する神の呼びかけの文字通り何百もの例のうちの 1 つです。私たちの誰もが望んでいるよりもはるかに長い、それは確かです。

○ 油注ぎと任命の間には時間があります。

○ 待っている間に多くの疑問や苦痛が生じる可能性もあります。

- デビッドのあらゆる不確実性の中で、彼が真実であると知っていることはほとんどありません。

1. 彼は神に召され、選ばれ、神に深く愛されています。

2. 神は約束に忠実です。

- これは私たちに、不確実性の中で神とともに住むことの基礎を教えてください。

1. 神は彼が何をしているのか知っています。

2. 「せっかちを満たすために」物事を操作する(または操作しようとする)ことは、おそらく「ドアが閉ざされてしまう」ことになるでしょう。待つことは信頼することです。そう、忍耐は難しいのです。

3. あなたに対する神の約束は、まだ起こっていないからといって変わっているわけではありません。あなたを通して起こる仕事がある前に、あなたの中で起こる仕事があります。

- これらはデビッドの話からわかる事実です。

- しかし、もっと深いことがあります。

- 私たちは「イエスとの関係」を強調しますが、それは当然のことです。おそらく、私たちは時々、人間関係とは、たくさんの事実や応用ポイントを記憶したり、正しい信念を採用したりすることではないことを忘れることがあります。

- そういったことが重要なのです。

- しかし、それは神とともに歩き、神と交わり、語り、経験することでもあるのです。

- したがって、これは彼のタイムラインにも当てはまります。これらは覚えておくとい事実です。

- 私の質問は...これはどんな感じですか？

- 詩篇は、私たちの霊的形成の知的側面だけでなく、弟子としての感情的な成長も垣間見せてくれます。
- これは私たちの編成の中で最も無視されている要素の 1 つであると私は信じています。
- 私たちが犯す間違いの 1 つは、感情 (特にネガティブな感情) を悪、悪い、または間違っていると考えることです。

- 「冷凍野菜をもっと食べよう物語」

- “心はよろずの物よりも偽るもので、はなはだしく悪に染まっている。だれがこれを、よく知ることができようか。どうか、わたしを恐れさせないでください。災のときに、あなたはわたしののがれ場です。”-エレミヤ書 17:9, 17 口語訳

- 「心」という言葉はヘブライ語のレブです。それは私たちのより深い願望、つまり私たちを動機づけ、駆り立てるものに語りかけます。私たちが密かに、そして最も大切にしているもの。

- それは私たちの感情について話しているのではありません。確かにそれらは関連していますが、感情、特にネガティブな感情が何らかの形で本質的に悪いものであり、避けるべきであると信じるのは間違いです。■ 滅多に話題にならないのは、それに続く詩です...

- “主であるわたしは心を探り、思いを試みる。おのおのに、その道にしたがい、その行いの実によって報いをするためである。”-エレミヤ書 17:10 口語訳

- Baw-khan' 調べる、試す、証明する (「探して調べる」) Baw-khan'

- 調べる、精査する

- (金、人、心、神の人を)テストする、証明する、試す

私たちの欲望の座は腐敗しているかもしれませんが、神はそれらを浄化することができます。

- 『Emotional Healthy Spirituality』の著者であるピーター・スカザロは次のように書いています。

「自分の痛み、喪失、感情を年々否定すると、私たちはますます人間らしくなくなっていきます。私たちは笑顔が描かれた抜け殻にゆっくりと変化します。悲しいことに、それは私たちの教会での弟子としての努力の成果です。しかし、悲しみ、憂鬱、恐怖、怒りなど、より幅広い感情を自分に感じられるようになったとき、私の精神性に革命が起こりました。私たちのより大きなクリスチャン生活の中で感情が聖書に基づいて位置づけられていることを理解していないことが、キリストにある自由な人々を奴隷状態に保ち、多大な損害を与えていることにすぐに気づきました。」— ピーター・スカザロ

- 同じ本の後半で、彼は次のように述べています。

「感情的な健康と精神的な成熟は切り離せないものです。感情的に未熟なままで精神的に成熟することは不可能です。」— ピーター・スカザロ

- 精神的に成熟するには、感情的な健康にも気を配る必要があります。
- それはあなたの霊的形成の一部です。
- 感情、そのあらゆる種類は、人間であることの意味の一部です。
- 何でこれが大切ですか？

「不確実性を抱えて生きる」ということについて話すとき、私たちはそれに自分の感情が含まれていることを認識する必要があります。

私たちは、疑問、不安、恐怖、悲しみ、怒り、誇り、無力感、絶望感、憂鬱、混乱、嫉妬、憧れなどをすぐに無視したくなるでしょう。

完全にされたいと思いますか？イエスのようになるには？

- そこでの旅は私たちの気持ちを否定するものではありません。
- あるいは、自分の感情を避けているのかもしれませんが。

完全性への道は、私たちを愛してくださる神に私たちの痛みをもたらすことです。

次ページへ: 詩篇 69 篇は、その方法を示しています。聖書のそこに目を向けてください。

動き 2: 乱雑な祈り - 詩篇 69:1-29 神学者デレク・キトナーはこう書いています。

「聖書の中にそのような祈りが記されているということ自体が、彼の理解を示しているのです。彼は私たちが絶望的なときにどのように話すかを知っています。」-デレク・キトナー

これらは厄介な祈りです。

私たちが感情に圧倒されて絶望的なことを言うてしまうことを神は理解しています。神は私たちのことをとてもよく理解しているので、絶望的なことや間違ったことさえも、私たちの祈り方の例として挙げてくださいます。

神様にこうやって祈っても安全だよ

あなたの最も深い感情を神に注ぎ出すには

この絶望的な感情はあなたの心の奥底にありますか？表現されていない？それらは誰でも消費できる世界のものですか？

いいえ。

それらは神のものなののでしょうか？完璧に手入れもされておらず、包装もされても、提示されてもいません...しかし、あなたを愛する神に対して必死に、そして間違っただけ表現されています。

詩篇 69...

1 “神よ、わたしをお救いください。大水が流れ来て、わたしの首にまで達しました。”

2 “わたしは足がかりもない深い泥の中に沈みました。わたしは深い水に陥り、大水がわたしの上を流れ過ぎました。”

3 “わたしは叫びによって疲れ、わたしののどはかわき、わたしの目は神を待ちわびて衰えました。”

4 “ゆえなく、わたしを憎む者は わたしの頭の毛よりも多く、偽ってわたしの敵となり、わたしを滅ぼそうとする者は強いのです。わたしは盗まなかった物をも 償わなければならないのですか。”

5 “神よ、あなたはわたしの愚かなことを 知っておられます。 わたしのもろもろのとははあなたに隠れることはありません。”

CSルイスは、『スクリーテープ・レターズ』でかつてこう書いた...「敵の意志を実行することをもはや望んでいないが、依然として意図している人間が、神の痕跡がすべて消え去ったように見える宇宙を眺め、なぜ自分は見捨てられたのか尋ねるときほど、私たちの大義が危険にさらされることはありません。」それでも従います。」-CS ルイス、『スクリーテープ・レターズ』

- これは詩編作者ダビデが経験していることです。
- それは十字架の聖ヨハネが「魂の暗い夜」と呼んだものです
- このような祈りこそが、不確実性の中で神とともに生きるということなのです。
- それは正直な祈りです。
- 6節...

6 “万軍の神、主よ、あなたを待ち望む者が わたしの事によって、 はずかしめられることのないようにしてください。 イスラエルの神よ、あなたを求める者が わたしの事によって、 恥を負わせられることのないようにしてください。”

- この祈りの正直さが、あなたに期待している人たちにとってつまずきにならないように。

○ あなたの人生と神学の中に、このような生の祈りを扱う余地はありますか？

○ 私たちは横に座らずに、修正するのにあまりにも早く動きすぎていませんか？

■ ヨブの友人たちは、神の助けを求める彼の熱烈な願いを正したために神とトラブルになったことを思い出してください。

■ ヨブは、不確実性の時期に神に対して欲求不満、混乱、絶望感を表明したことに対して罪を犯していませんでした。

■ 彼は模範として取り上げられている。

■ ヨブの友人のようにならないでください。

■ 7節...

7 “わたしはあなたのためにそしりを負い、恥がわたしの顔をおおったのです。”

8 “わたしはわが兄弟には、知らぬ者となり、わが母の子らには、のけ者となりました。”

- 「不確実性」の中で、彼は孤独を感じています。
- これは、ヨブの友人について私が今述べたことを補強するものです。
- 彼が、自分が経験している軽蔑と恥辱は、自分の人生における神の働きのせいであるように感じている、と主張していることに注目してください。
- ある通知...彼は孤独を感じています...彼に最も近いはずの人からも。
- 9節...

9 “あなたの家を思う熱心がわたしを食いつくし、あなたをそしる者のそしりが わたしに及んだからです。”

10 “わたしが断食をもってわたしの魂を悩ませば、かえってそれによってそしりをうけました。”

11 “わたしが荒布を衣とすれば、かえって彼らのことわざとなりました。”

12 “わたしは門に座する者の話題となり、酔いどれの歌となりました。”

- 神に忠実であろうとする努力の中で、彼は苦しみを経験しています。
- この詩篇には深い問いが潜んでいます...
- 「なぜ私はこんなことを経験しているのでしょうか？」
- 「ああ、神様、なぜですか？」
- そして私たちは、不安の中で神に疑問を抱くのは悪いことではないと教えられています。
  - 彼と一緒に過ごすということは、彼に難しい質問をすることも含みます。
- そして今、この詩篇は変化を遂げます...

13 “しかし主よ、わたしはあなたに祈ります。神よ、恵みの時に、あなたのいつくしみの豊かなるにより、わたしにお答えください。”

14 “あなたのまことの救により、わたしを泥の中に沈まぬよう助け出してください。わたしを憎む者から、また深い水からわたしを助け出してください。”

15 “大水がわたしの上を流れ過ぎることなく、 淵がわたしをのむことなく、 穴がその口をわたしの上に閉じることはないように してください。”

16 “主よ、あなたのいつくしみの深さにより、 わたしにお答えください。 あなたのあわれみの豊かなるにより、 わたしを顧みてください。”

17 “あなたの顔をしもべに隠さないでください。わたしは悩んでいるのです。すみやかにわたしにお答えください。”

18 “わたしに近く寄って、わたしをあがない、わが敵のゆえにわたしをお救いください。”

- 痛みをどこに向けますか？
- 混乱の中でどこに目に向けますか？
- 最大の絶望の瞬間に、彼は主に立ち返ります。
- 要約して言えば…

■「この壊れた世界で私が見つけられないものすべてになってください、神よ。」

■「他の人たちと同じように私を見捨てないでください。私は孤独を感じる。」

■「近くにいてください！ 怖いと感じます！」

- 私たちは、デビッドの人生に人々がいたということを知っています。しかし、私たちはこれが絶望の詩篇であることも知っています。
- おそらくそれらは事実ではなく、感情です。
- そして彼らを直接神のところへ連れて行きます。

19 “あなたはわたしの受けるそしりと、恥と、はずかしめとを知っておられます。わたしのあだは皆あなたの前にあります。”

20 “そしりがわたしの心を砕いたので、わたしは望みを失いました。わたしは同情する者を求めたけれども、ひとりもなく、慰める者を求めたけれども、ひとりも見ませんでした。”

21 “彼らはわたしの食物に毒を入れ、 わたしのかわいた時に酢を飲ませました。”

22 “彼らの前の食卓を網とし、 彼らが犠牲をささげる祭を、わなとしてください。”

23 “彼らの目を暗くして見えなくし、 彼らの腰を常に震わせ、”

24 “あなたの憤りを彼らの上にそそぎ、あなたの激しい怒りを彼らに追いつかせてください。”

25 “彼らの宿営を荒し、 ひとりもその天幕に住まわせないでください。”

26 “彼らはあなたが撃たれた者を迫害し、 あなたが傷つけられた者をさらに苦しめるからです。”

27 “彼らに、罰に罰を加え、 あなたの赦免にあずからせないでください。”

28 “彼らをいのちの書から消し去って、 義人のうちに記録されることのないようにしてください。”

29 “しかしわたしは悩み苦しんでいます。神よ、あなたの救が わたしを高い所に置かれますように。”

- この進行は激しくなります。
- それは...から始まります
  - 彼らが私のために仕掛けた罠で彼らを捕まえさせてください。
- しかし、それは深刻なエスカレーションに終わります...
  - 「彼らがいのちの書から抹消され、義人たちのリストに載せられなくなりますように。」
- いやー。今朝、私たちがこれを礼拝の歌として歌ったらどうなるか想像できますか？ ○ 「How Great Thou Art」の曲に合わせて - 永遠に敵を破壊してください!
- はあ。それは私を怖がらせてしまうでしょう。
- しかし、聖書の礼拝書の中に、それが記されています。
- 祈りの新たな深さを私たちに教えてくれます。
- 以前共有した引用をもう一度話しましょう...
  - 「聖書の中にそのような祈りが記されているということ自体が、彼の祈りの証しです。  
理解。彼は私たちが絶望的なときにどのように話すかを知っています。」 - デレク・キトナー
- あるレベルでは、神に敵を倒してくれと頼むのは悪い神学です。
  - 「敵を愛し、あなたを迫害する人々のために祈りなさい。」
    - これは特にイエスにおいて明らかにされた神の御心です。
      - だからこそ、聖書全体をしっかりと把握しておく必要があります。
- 別のレベルでは、混乱の中でこれを必死に正直に祈ることが、不安の中で神と共に住むことを意味します。

次へ: 神はあなたが間違った祈りをするに非常に平気なので、聖書の中にそのようなことを言う人がいるのを許しています。30節...

動き 3: 祈りは賛美に変わる - 詩篇 69:30-36

30 “わたしは歌をもって神の名をほめたたえ、感謝をもって神をあがめます。”

31 “これは雄牛または角とひずめのある雄牛にまさって 主を喜ばせるでしょう。”

32 “へりくだる者は、これを見て喜べ。神を求める者よ、あなたがたの心を生きかえらせよ。”

33 “主は乏しい者に聞き、 その捕われ人をかろしめられないからである。”

34 “天と地は主をほめたたえ、 海とその中に動くあらゆるものは主をほめたたえよ。”

35 “神はシオンを救い、 ユダの町々を建て直されるからである。 そのしもべらはそこに住んでこれを所有し、 ”

36 “そのしもべらの子孫はこれを継ぎ、 み名を愛する者はその中に住むであろう。”

- 「そして彼の名を愛する者たちはそこに住むでしょう。」

- かつてユージン・ピーターソンはこう言いました。

- 「すべての祈りは、十分に長く追求されれば、最終的には賛美になります。」 - ユージン・ピーターソン

- これがこの詩編に見られる進行です。

  - 彼は正直に祈っている

  - 彼は恐怖を祈ります。

  - 彼は涙を流して祈る

  - 彼は怒りを祈ります

- 彼は祈りのうちに神を追い求め、最終的には賛美に行き着きます。

- 何年もかかるかもしれないし、何十年もかかるかもしれないし、急ぐことも、強制することもできませんが、粘り強く続ければ、最終的にはあなたの祈りはすべて賛美となるでしょう。

- どうやって？

何が起こったかに注目してください。デビッドはホープに注意を向けます。

福音の希望を持っているなら、いつかあなたの目からすべての涙がぬぐわれることを知っています。あなたはイエスのおかげで、いつか神が壊れたものをすべて元通りにしてくださるという希望を持っています。この希望があれば、あなたは自由です。あなたが泣くのも自由ですし、泣く人たちと一緒に泣くのも自由です。あなたは「これは決して終わらない」という恐怖から解放されているので、悲しみや痛みや悲しみを自由に経験することができます。いつか、あなたの残念さ、痛み、悲しみ、そしてあなた自身の傷心さえも、完全に修復されるでしょう。

あなたは不確実性の中で神とともに自由に住むことができます。

彼のところへ走ってください…あなたのすべてを。

そして、もしそうなら、あなたは依然として不確実性を抱えて生きることになります。それくらい、約束します。それは変わりません。そうだとさえいえるのですが。

しかし、確信できることがいくつかあります。(そしてそれらは、私たちが以前デイビッドと話したのと同じことの一部です)

不確実性の中で何が確信できるでしょうか？

1. あなたは神の喜びです。それはあなたの行動のせいではなく、ただ彼があなたを愛しているからであり、それは決して変わりません。(私は娘たちにこれを言います。あなたができること、言えることは何もありません。それが私を多かれ少なかれあなたを愛するようにすることは決してありません。)あなたは神の喜びです。それは確かです。
2. たとえ「魂の暗い夜」にいるように感じて、あなたは神に忘れられていません。彼は決してあなたを見捨てることはありません。それは確かです。
3. あなたは変身します。神によって心が清められ、試されるにつれて、あなたは今よりもさらに大きくなるでしょう。あなたの祈りが賛美に変わると、神はあなたの内で働きを完成させてくださいます。あきらめないで。それは確かです。
4. 彼はあなたの人生における約束を忠実に果たすでしょう。それは確かです。

応答: 新しいワイン

にに応じて...

私の人生で何年もリピートしてきた曲を共有したいと思います。

不確実性の中で神とともに暮らすことは、押しつぶされそうになったり、切迫したり、混乱したりするかもしれません。そして、それをどうするかについては、実際には2つの選択肢があります...

彼から逃げることもできますし、彼に向かって逃げることもできます。

あなたが彼に身を委ねると、あなたの中で何か美しいことが起こります。彼にあなたの痛みを最大限に利用させたとき。彼はあなたをさらに何かに変えます。それが先ほど話した変革です...

そこで私はこの歌を皆さんと共有し、自分の不安を神に委ねる機会を与えたいと思いました。

新しいワイン

粉碎の中で

プレス中

新しいワインを作っているんですね

土の中で私は今降参する

あなたは新境地を開拓しています

だから私はあなたとあなたの慎重な手に  
委ねます

あなたを信頼しているときは理解する必  
要はありません

私をあなたの器にしてください

私にお供え物をしてください

あなたが私に望むものは何でも私にして  
ください

何も持たずにここに来ました

しかし、あなたが私に与えてくださったす  
べてのもの、イエスは私から新しいワイ  
ンをもたらしてくださいます